

いつも一緒  
富山のペットたち

夏が近づき、気温や湿度が上がってくると、ペットの体の表面のトラブルが増えてきます。頭をしきりに振る、耳を地面にこすりつける、後ろ足でよく耳をかくーといった行動は、耳に異常が起きているサインです。



鷹島 慎太郎

しんめい動物病院長  
(富山市高田)

耳のトラブル

耳の穴の入  
り口から鼓膜  
までの部分  
は、外耳と呼  
ばれています。この部分に炎症  
が起きるのが外耳炎です。耳あ  
かがたまり過ぎると、ばい菌が  
繁殖しやすくなり、増えたいば  
い菌が炎症を起こします。炎症に  
よって外耳が腫れて狭くなり、  
耳あかが出づらくなることで、  
外耳炎はさらに悪化します。

耳が垂れている、耳の中に毛  
が生えている、生まれつき耳の  
穴が狭い、耳あかがベタベタす  
るなどの特徴を持つペット  
は、耳の中の湿気が多くなりや  
すく、ばい菌の成育を助長しま  
す。外耳炎を起こしやすいので  
注意が必要です。

私見ですが、歯が悪い犬は耳  
あかがたまりやすいように感じ  
ます。かむことが耳あかの正常  
な排出に関連していると考えら  
れます。

抗菌剤で治療

外耳炎の治療は、ばい菌の栄  
養源となっている耳あかの除去  
のほか、腫れを抑えて耳の穴を  
広げる消炎剤や、ばい菌を退治  
する抗菌剤の投与によって行い  
ます。軽度なものは、耳掃除を  
して点耳薬を使えば、たいてい

除去の妨げになるので引き抜き  
ます。

外耳炎を何度も繰り返してい  
ると、薬が効かなくなると慢性  
化する場合があります。抗菌剤  
が効かないばい菌(薬剤耐性菌)  
だけが生き残ってしまったため  
です。薬剤耐性菌による外耳炎が  
疑われるときは、どの抗菌剤が

定期的に手入れしよう

は治ります。腫れがひどく耳掃  
除が難しい場合は、先に飲み薬  
を使って腫れを引かせてから耳  
掃除と点耳薬を用います。耳掃  
除が取れない奥の方にある耳あ  
かは、洗浄液を使って洗い流し  
ます。耳の中の毛は、耳あかの

有効か確かめる検査(感受性試  
験)を行い、適切な抗菌剤を用  
いることで治療します。

ダニも原因に

外耳炎の原因は、ばい菌だけ  
ではありません。耳の中に寄生

するダニ(ミミヒセンダニ)に  
よっても引き起こされます。寄  
生されると黒っぽい耳あかがた  
くさん出ます。耳の中でダニが  
動き回るため、うるさくて夜眠  
れず、睡眠不足で食欲や元気が  
なくなります。

買ったばかりのフェレッ  
トには、高い確率でミミヒセン  
ダニが寄生しています。子犬・  
子猫でも、たまに見掛けま  
す。ダニを退治する特殊な薬剤を用  
いることで治療できます。

外耳炎はアトピー性皮膚炎や  
アレルギーによって起こりま  
す。抗アレルギー剤で治療しま  
すが、食べ物アレルギーであ  
れば、アレルギーに配慮した食  
べ物に変更することで、症状が  
軽くなる場合があります。

まれに、耳の中に腫瘍(イホ  
のようなもの)ができること  
があります。腫瘍は正常な耳あ  
かの排出を妨げ、耳の中の湿度  
を高くするので、外耳炎を引  
き起こします。通常の外耳炎の  
治療と同時に、腫瘍自体の切除  
が必要となります。はきみなど  
が届かない位置であれば、耳の  
穴を大きく切り広げて大掛かり  
な手術をしなければなりません。

耳が大きく垂れている犬種は、耳の病気に注意が必要だ



外耳炎を予防するには、定期  
的に耳の汚れやにおいを確認

し、耳あかと耳の中の毛の手入  
れをしてください。アメリカン  
コッカースパニエル、ビークル、  
ゴールデンレトリバー、ラブラ  
ドルレトリバー、ダックスフ  
ント、シーズーなどの犬種は、  
外耳炎を起こしやすいとされて  
います。

耳を見ようとしていたり、耳を触  
ると嫌がったりす  
る場合は、すでに  
外耳炎になってい  
る可能性があります。  
手入れができ  
ない、手入れの方法がわからな  
いといったときは無理せず、  
かかりつけの獣医師に相談しま  
しょう。

「いつも一緒 富山のペットた  
ち」は、毎月第一木曜日に掲載し  
ます。

2013(平成25)年6月6日  
北日本新聞